

第 29 回 山口県国際教育研究大会

大会テーマ 『世界とつながり、心豊かに生きる子どもの育成』

2022年8月10日（水） 於：山口県総合保健会館

会長挨拶

3年ぶりに対面式の開催となりました。国際教育や外国語教育を通して、「世界とつながり、心豊かに生きる子どもの育成」をめざす本会の取組をより多くの方にご理解いただき、いっしょに研究を進めていきたいと思えます。



【第1部】 帰国報告会 「住んでみたらこんなところだった」

派遣国の歴史や文化、街の様子、実際に生活して感じたこと、そして、コロナ禍の学校生活について詳しく紹介してくださいました。



青島日本人学校 派遣教員

バンコク日本人学校 派遣教員

◇ 参加者の感想から ◇

- ・ 今まで遠く感じていた国を身近に感じることができました。また、コロナ禍を様々なアイデアで乗り越えてこられた事も分かり、自分も今まで以上に主体的に対応しようという元気もいただきました。
- ・ 実際に日本人学校での様子を知ることができとても興味深かったです。コロナ禍での苦労の中、オンライン対応での様子など今ならでのことも知ることができました。
- ・ 実際に経験した方の話には説得力があり、もっとたくさんの方に聞いてほしいと思いました。
- ・ 現地での生活や教育実践内容を知ることができ、興味深く拝聴することができました。
- ・ 先生方が肌で感じられたことをそのまま述べていただくお話は、やはり新鮮でありがたいです。



【第2部】 ワークショップ

「楽しく学べる国際教育のワークショップ～SDGsについて考える～」

3, 4人でグループをつくり、様々な課題に対してSDGsを達成するための解決策を考えました。

- 学校で野菜がたくさん採れました。それを無駄にしないで使う方法を、小学校の委員会の立場から考えよう。
- ずっと住み続けられる町づくりをめざして、重視するSDGsの目標をたて、そのために必要な施設を考えよう。



JICA中国 山口デスク



◇ 参加者の感想から ◇

- ・ 世界を身近に感じる事ができました。
- ・ SDGsについて、実際にワークショップを通して理解するよい機会でした。
- ・ SDGsの視点でそれぞれの委員会としてどんなことができるかを考える内容は、とても面白いなと思いました。実際に学校でやってみたくなるワークショップでした。
- ・ JICAのワークショップは、教員がするワークショップとは違う面白さがあると思います。新しい視点もいただくことができ良かったです。
- ・ 大変参考になりました。国際理解が身近な他者との交流から始まるということで、地域との連携が価値付けられているのかなと思いました。
- ・ SDGsの視点をもって活動を仕組むことは、すぐに学校で使えると思いました。自分が体験してみるというのにも大きな意味があると思いました。
- ・ SDGsと委員会活動を関連させたのがよかったです。教師の日々の活動に直接関連させたことで、本研修の有用感を感じることができたのではないかと思います。

【第3部】 ワールドカフェ

「世界の話から国際教育について考えよう」

山口市在住の16名の外国人をゲストにお迎えし、7つのグループに分かれてお話を聞きました。たくさんの国の話を聞くことができ、ちょっとした世界旅行気分を味わいました。

ゲスト： 山口市国際交流員、山口市ALT、山口大学留学生 等



◇ 参加者の感想から ◇

- ・ 70分間で、世界旅行をさせていただきました。と一っつても、楽しかったです。外国から来られた皆様の協力があったことで感謝です。ガーボベルディやモンゴルなど、初めて出会う国の人もあり、貴重な体験でした。
- ・ 中国から留学に来られた方は、アメリカと山口大学からオファーがあったけど、山口大学を選ばれたそうです。また、オーストラリアから来られた方は、名古屋にもいたけど閑静な山口に戻って来られたそうです。山口県に住む良さも再発見しました。
- ・ いろいろな国の話が聞けて面白かったです。子どもたちにもこのような機会があるといいなと思いました。
- ・ 本研究会らしいプログラムだと思います。外国語の授業づくりの研修では味わうことができないと思います。何よりもゲストの方には事前の準備をしていただき本当にありがたいと思います。
- ・ それぞれの国の様子やそれぞれの国の日本のイメージ等がわかりよかったです。様々な国の方にお会いできて本当によかったです。
- ・ 様々な国の方々と話すことができ違いや共通点を感じるとともに、共通のコミュニケーションツールとしての英語の大切さを痛感しました。
- ・ 話をするなかで様々な国の特色や文化を知ることができました。各国との共通点や違い

など驚くことばかりでした。中には、知らなかっただけで実は他国の文化が日本に普通に溶け込んでいるものもあるのだと思いました。きっとそれらは、今回の研修のような他国の方との交流を続けてきた結果であり、成果なのだなと思いました。これから先、さらに国際化、情報化が加速度的に進むと思うので、相手（外国の方）を知るとても良い機会になりました。

- ・ 対面での研修が大切だと言うことを実感したプログラムでした。これだけ多数の外国人の方と直接コミュニケーションできることは、本会の大きな特色の一つだと思います。

【第4部】 講演会

「言語活動を通して」指導する際のポイント ～中間指導とICTの活用～

文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子 様

言語活動を通じた指導の重要性について、学習指導要領から中学外国語科との連続性を明確にし、様々な授業場面における実践的なご指導をいただきました。また、端末機やデジタル教科書を活用した中間指導について紹介してくださいました。



◇ 参加者の感想から ◇

- ・ なぜ英語を学ぶのかというお話に感銘を受けました。
- ・ 直山木綿子先生のお話を直接聞くことができ、幸せです。言語活動の重要性、今後の動きなど迫力ある語り口で身体に入ってきました。
- ・ 子どもの姿から気付かせる、ということを意識してやってみたいと思いました。また、ICTを使った実践も大変参考になり、ぜひ2学期からの授業に生かしていきたいと思いません。大変勉強になりました。
- ・ 毎回、勇気とパワーをいただくことができます。本当にありがとうございます。来年もぜひお願いします。
- ・ 同じ事を聞いてもオンラインで聞くのとは伝わる物が違い、やはり人と人が対面することが一番大切だと感じました。
- ・ しっかりと学習指導要領に基づいて、外国語科や外国語活動のあるべきすがたを考えることができ、とてもよい研修となりました。

- ・ 外国語科(活動)の授業を成り立たせるための要素を確認することができました。特に、評価という児童の育てるべき姿について理解を深めることができたことは2学期に向けて収穫になりました。
- ・ 言語活動について、具体的な話が聞けて良かったです。コミュニケーションにもっと重きをおいて指導していこうと思いました。
- ・ 言語活動の捉え方や実践への理解を深めることができました。また、英語科以外の方々も講演を聞くことができ、学校の支援や協力体制への一助にもつながる良い機会だと感じました。
- ・ 外国語活動や外国語では、「言語活動を通して〇〇」を意識してた授業作りが求められることを改めて実感しました。修学旅行の事例を基に、言語活動のポイントである「必然性」「相手意識」「ほんもの」について説明をされ、これらを意識した授業作りが求められると感じました。その反面、この3つのポイントを普段の一授業の中でどのように設定していくか具体的なイメージがまだまだ見えないと感じました。実践事例として説明されたような授業は難しいところもあると思うので、学校を巻き込んで考えていきたいと思います。また、言語活動を通して既習の表現の想起や言語材料を習得していく、それを子ども自ら獲得したいと思えるような授業展開をしていけるようにしていきたいと思います。



おわりに

世界情勢が混沌としている今、国際教育に関わる様々な立場の方から、それぞれの視点の国際教育について学ぶことができました。何より、思いや空気感を直に感じることができ、実り多い研究大会になりました。

◇ 参加者の感想から ◇

- ・ 来年も対面で帰国報告会、ワークショップ、講演等で国際教育について学べたら嬉しいです。ありがとうございました。
- ・ コロナ禍の久々の対面研修、開催にあたって大変なご準備だったと思います。ありがとうございます。
- ・ 今年実施された帰国報告会やワールドカフェのような外国のことを知ることができる企画をまた入れていただきたいです。
- ・ このような時期、対面での研修は貴重なものでした。開催していただき、参加させてくださりありがとうございました。

